

製品名: タケシール 1液NEOプラス

竹林化学工業株式会社

## 安全データシート

作成 : 2019年12月12日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 : タケシール 1液NEOプラス  
 会社名 : 竹林化学工業株式会社  
 住所 : 大阪府東大阪市渋川町3丁目1番43号  
 担当部門 : 品質管理部(担当者 大江吉郎)  
 電話番号 : 06-6721-6165  
 FAX番号 : 06-6720-7308  
 緊急連絡先 : 06-6721-6165  
 奨励用途と使用上の制限 : 工業用(防水材 等)  
 整理番号 :

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

引火性液体 : 区分3

## 健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外

(経皮) : 区分外

(吸入;気体) : 分類対象外

(吸入;蒸気) : 分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 分類できない。

眼損傷性及び眼刺激性 : 区分2

生殖細胞変異原性 : 区分2

発ガン性 : 区分1A

生殖毒性 : 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: 区分2(呼吸器、免疫系、腎臓)

吸引性呼吸器有害性

: 分類できない。

## 環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 分類できない。

水性環境有害性(長期間) : 分類できない。

オゾン層への有害性 : 分類できない。

## GHSラベル要素

絵表示

:



注意喚起語

: 危険

発行日 : 2019年12月25日

製品名: タケシール 1液NEOプラス

## 竹林化学工業株式会社

危険有害性情報	:	引火性液体及び蒸気。 強い眼刺激。 遺伝性疾患のおそれの疑い 発がん性のおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
注意書き		
[安全対策]	:	使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 熱・火花・裸火・高温などの着火源から遠ざけること。---禁煙。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 容器を密閉しておくこと。 容器を接地しアースを取ること。 防爆型の電気機器/換気装置/証明機器/その他機器を使用のここと。 火花を発生させない工具を使用すること。 電気放電にたいする予防措置を講ずること。
[応急措置]	:	火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。 次の場合は直ちに医師に連絡し診断/手当てを受けて下さい。 (皮膚刺激、発疹が生じた場合、眼に入った場合、気分が悪い場合、 身体上の異常が生じた場合。) 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
[保管]	:	容器を密閉して、換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
[廃棄]	:	内容物/容器を廃棄する時は、関係省令に基づき、自社で適正に処理するか又は廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
物理的及び化学的危険性	:	燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	:	混合物
成分及び含有量	:	① 可塑剤 10~20% ② 石油系炭化水素 1~10% ③ 二酸化チタン(ナノ粒子以外) 1~10% ④ 結晶質シリカ 1~10% ⑤ ジオクチルスズジラウレート 0.1~1%未満
化学式又は構造式	:	特定できない
官報公示整理番号(化審法)	:	① 登録済 ② 登録済 ③ 1-558 ④ 1-548 ⑤ 2-2252・3-3424
官報公示整理番号(安衛法)	:	①~⑤既存
CAS番号	:	① 登録済 ② 登録済 ③ 13463-67-7 ④ 14808-8-60-7

発行日: 2019年12月25日

## 竹林化学工業株式会社

⑤ 3648-18-8

## 4. 応急措置

- 皮膚(又は髪)に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。  
多量の水および石鹼で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて用意に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- 応急措置をする者の保護 : 救済者は適切な保護具、(ゴム手袋、保護眼鏡、防護マスク)等を着用する。  
: 適切な換気をおこなう。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、炭酸ガスを使用すること。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状の水、高圧水
- 特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素や窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。  
火災によって刺激性、有毒及び/または腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 関係者以外は安全な場所に退避させる。  
周囲の設備などに散水して冷却する。  
火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用し、保護具を着用して消火する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。  
燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素化合物等の有害ガスが含まれているので、消火作業の際には、適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク、エプロン等)を着用する。  
多量の場合、関係者以外を安全な場所に退避させ、風上から作業する。  
漏出した場所の周囲にはロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 河川への排出等により、環境への影響を起ささないように注意する。
- 除去方法 : 少量の場合、吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。大量の水で洗い流す。  
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。  
回収後の床は必要により、中和・除害の処置をとる。  
[中和剤の例] 水/炭酸ナトリウム/液体洗剤=90~95/5~10/0.2~2(重量比)
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。  
床を濡れた状態で放置すると滑り易く、スリップ事故の原因となるため注意する。  
漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。回収物の収納容器は、内容物の処分を行うまで密閉しておく。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

## 技術的対策

(取扱者の暴露防止)

- : 粉塵/煙/ミスト/ガス/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

## 竹林化学工業株式会社

皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。  
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着用すること。

取扱い後は手・顔等はよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。  
休憩所には、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に手・顔などをよく洗う。  
過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

## (火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。---禁煙  
容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花をおこさない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

## 注意事項

: 火気厳禁。

製品を運搬又は貯蔵する時は、容器に破損の無いことを確認する。

製品を長期に亘って貯蔵し、或は製品を取り出して混合する等の作業を行う場合は  
地下浸透や汚染などを防止する為、シートなどを敷いて行う。

## 安全取扱い注意事項

: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。(詳細は、8、「暴露防止及び保護  
措置」の保護具の項を参照)。

作業場の換気を十分に行う。

本来の用途以外に使用しないこと。

容器はその都度密栓すること。

## 保管

## 適切な保管条件

: 屋内の通気の良い場所で容器を密閉して保管する。火気厳禁。高湿に注意。

子供の手の届かない施設できるところに保管すること。

水と反応しやすいので、容器内に水分が入らないように注意すること。窒素シール  
をして保管する。

長期間保存する場合は定期的な点検も必要となる。

## 配合禁忌

: 指定材料以外と混合してはならない。

## 安全な容器包装材料

: 製品使用容器に準ずる。

## 8. 暴露防止及び保護措置

## 設備対策

: 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場  
所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。機械類は防爆構造とし、  
設備は静電気対策を実施する。

## 管理指示

## 管理濃度

: データなし

## 許容濃度

(二酸化チタン(ナノ粒子以外))

日本産衛生学会(2013)0.3mg-ナノ粒子/m<sup>3</sup>

(結晶質シリカ)

日本産衛生学会(2006)0.03m<sup>3</sup>

(二酸化チタン(ナノ粒子以外))

ACGIH(1992)TWA:10mg/m<sup>3</sup>(下気道刺激)

(結晶質シリカ)

ACGIH(2009)TWA:0.025mg/m<sup>3</sup>(R)(肺繊維症;肺がん)

(ジオクチルスズジラウレート)

ACGIHTWA:0.1mg-有機Sn/m<sup>3</sup>

STEL:0.2mg-有機Sn/m<sup>3</sup>(眼および上気道刺激;頭痛;吐気;中枢神経系  
及び免疫系影響)

注釈(症状、接種経路など)

製品名: タケシール 1液NEOプラス

## 竹林化学工業株式会社

(ジオクチルスズジラウレート)  
皮膚呼吸

## ばく露防止

## 設備対策

: 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。機械類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

## 保護具

呼吸器用の保護具

: 必要により有機溶剤用防毒マスク。

手の保護具

: 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋。

眼の保護具

: 側板付保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面)

皮膚及び身体の保護具

: 静電気防止加工長袖作業衣・安全靴等。

## 適切な衛生対策

: 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

## 物理的状態

形状

: 液体

色

: グレイ系

臭い

: 溶剤臭

臭いの閾値

: データなし。

pH

: データなし(水不溶)

## 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点

: 155℃

融点/凝固点

: データなし。

分解温度

: データなし。

引火点

: 55℃(セタ密閉式)

自然発火点

: 380℃

## 爆発特性: 引火又は爆発範囲

爆発限界 上限

: 6.0vol %

爆発限界 下限

: 0.4vol %

蒸気圧

: データなし。

蒸気密度

: データなし。

比重/密度

: 知見なし

## 溶解性

水溶解性

: 難溶

n-オクタノール/水分配係数

: データなし。

## 10. 安定性及び反応性

反応性

: 湿気と反応して硬化する。

化学的安定性

: 開栓状態では空気中の湿気と徐々に反応し、表面より硬化する。

避けるべき条件

: 直射日光、炎、火花、加熱、高温を避ける。

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)

: [日本公表根拠データ]  
(二酸化チタン(ナノ粒子以外))  
rat LD50 >5,000mg/kg(SIDS, 2015)  
(可塑剤)  
rat LD50 >9,800mg/kg(EU-RAR(2003))  
(経皮) : [日本公表根拠データ]  
(二酸化チタン(ナノ粒子以外))

製品名: タケシール 1液NEOプラス

## 竹林化学工業株式会社

(経皮)	hamsaer LD50 >10,000mg/kg(HSDB (Access on May 2016)) (可塑剤) rabbit LD50 >3,160mg/kg(EU-RAR(2003))
(吸入)	: [日本公表根拠データ] (二酸化チタン(ナノ粒子以外)) dust:rat LC50 >5.09mg/L(SIDS, 2015)
(吸入:蒸気)	: データなし。
局所効果	
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: [会社固有データ] (可塑剤) ウナギ 0.1ml/72Hごく弱い刺激
感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: [日本公表根拠データ] (結晶質シリカ) cat.2 SIDS, 2013
発がん性	: [日本公表根拠データ] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (二酸化チタン(ナノ粒子以外)) cat.2 ;IARC (93, 2010) Gr.2B et al</li> <li>・ (結晶質シリカ) cat.1A ;IARC (100C, 2010) Gr.1 et al</li> <li>・ (二酸化チタン(ナノ粒子以外)) IARC Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない</li> <li>・ (結晶質シリカ) IARC-Gr.1: ヒトに対して発がん性がある</li> <li>・ (結晶質シリカ) ACGIH-A2 (2009): ヒトに対して発がん性の疑いがある</li> <li>・ (ジオクチルスズジラウレート) ACGIH-A4: ヒト発がん性因子として分類できない</li> <li>・ (二酸化チタン(ナノ粒子以外)) ACGIH-A (1992) 4: ヒト発がん性因子として分類できない</li> <li>・ (結晶質シリカ) 日本産衛学会-1: ヒトに発がん性があると判断できる物質</li> <li>・ (二酸化チタン(ナノ粒子以外)) 日本産衛学会-2B: ヒトにおそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質</li> </ul>
生殖毒性	: [日本公表根拠データ] (可塑剤) cat.2;rat: EU-RAR(2003)
催奇形性	: データなし
短期ばく露による即時影響、長期暴露による遅延/慢性影響	
特定標的臓器毒性	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	
[区分1]	: [日本公表根拠データ] (二酸化チタン(ナノ粒子以外)) 呼吸器(SIDS, 2015) (結晶質シリカ)呼吸器、免疫系、腎臓(SIDS, 2013)
吸引性呼吸器有害性	: データなし
その他情報	: 商品として危険有害性評価を行っていません。

## 12. 環境影響情報

生態毒性  
水生毒性

発行日: 2019年12月25日

製品名: タケシール 1液NEOプラス

## 竹林化学工業株式会社

- 水生毒性(急性)成分データ : [日本公表根拠データ]  
 : (結晶質シリカ)  
 甲殻類(オオミジンコ)LL50>10000mg/L(SIDS,2003)  
 : (可塑剤)  
 魚類(ファットヘッドミノー)LC50>=0.14mg/L96hr.  
 甲殻類(オオミジンコ)EC50>0.086mg/L48hr(EU-RAR,2003)  
 : (二酸化チタン(ナノ粒子以外))  
 甲殻類(オオミジンコ)EL50>100mg/L48hr(SIDS,2015)
- 水溶解度  
 : (二酸化チタン(ナノ粒子以外))  
 解けない(ICSC,2002)  
 : (結晶質シリカ)  
 解けない(ICSC,2010)  
 : (可塑剤)  
 <0.01g/100ml(20°C)(ICSC,2004)
- 残留性・分解性  
 : 可塑剤  
 BODによる分解度: 74%(既存点検、2002)
- 生体蓄積性  
 : (可塑剤)  
 log Pow=8.8(ICSC,2004)
- 土壌中の移動性 : データなし  
 オゾン層破壊物質 : データなし  
 その他の情報 ※ 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。  
 特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接ながれないように対処すること。
13. 廃棄上の注意
- 残余廃棄物 : 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。引火性物質を含むので注意する。廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)の特別管理廃棄物、消防法を遵守し、適正に処理する。
- 汚染容器及び包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。
14. 輸送上の注意
- 国内法規制 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。  
 海上輸送 : 船舶安全法に該当する場合は定められている運送方法に従う。  
 航空輸送 : 航空法に該当する場合は定められている運送方法に従う。
- 国際法規制 : 航空運輸はIATA、および海上輸送はIMDGの規制に従う。
- 国連番号・国連分類
- 国連分類 : (輸送における危険有害性クラス): 3  
 国連番号 : 1866  
 国連品名 : 樹脂溶液  
 容器等級 : III  
 指針番号 : 128
- 輸送の特定の安全対策及び条件

発行日 : 2019年12月25日

製品名: タケシール 1液NEOプラス

## 竹林化学工業株式会社

- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合はそれぞれの街頭法律に定められる運搬方法に従うこと。
- 海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。
- 航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。
- その他 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。  
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
「取扱いおよび保管上の注意」の項の記載に従うこと。  
直射日光・雨にばく露されないように運搬する。

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/hourei

毒物及び劇物取締法に該当しない。

- 労働安全衛生法 : 有機溶剤に該当しない製品  
: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物  
: 名称表示危険/有害物  
結晶質シリカ(別表大9の165の2)  
二酸化チタン(二酸化チタン(ナノ粒子以外))(別表大9の191)  
: 名称通知危険有害物  
結晶質シリカ(別表大9の165の2)  
二酸化チタン(二酸化チタン(ナノ粒子以外))(別表大9の191)  
ジオクチルスズジラウレート(別表第9の322)  
: 別表第1 危険物(第1条、第6条、第15条関係)  
危険物・引火性の物(30℃≦引火点<65℃  
化学物質排出把握管理促進(PRTR法)に該当しない。
- 消防法 : 第4類 引火性液体第2石油類非水溶液液体 危険等級 III(指定数量1,000L)

## 16. その他の情報

引用文献

Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals,(5th ed... 2013),UN  
Recommendations on the Transport of Dangerous Goods 19th edit.,2015UN  
classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECONO6182012).  
2016EMAERGENCY RESPONSE GUIDBOOK(US DOT)  
2017TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/index.php>  
JIS Z 7253(2012年)  
JIS Z 7253(2014年)  
2017許容濃度等勧告(日本産業衛生学会)  
原材料/製品メーカーSDS  
国際科学物質安全性カード(ICSC)日本語版  
社団法人日本塗料工業会「GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物用(塗料用)]改訂第3版」  
独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)

※ ここに記載した情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。使用前のテストを含め、本品の適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。

記載内容の問合せ先

会社 : 竹林化学工業株式会社  
担当部門 : 品質管理部(担当者 大江吉郎)

発行日 : 2019年12月25日